

平成 29 年度国立大学図書館協会近畿地区助成事業

『文献入手スキルアップセミナー：文献入手のプロとして学術情報流通の今とこれからを知る』

事後アンケート結果

回答数:54

○ 当該セミナーを知ったきっかけ(複数回答可)

国立大学図書館協会の案内	19
大学図書館近畿イニシアティブ ML	20
神戸大学附属図書館 web サイト	0
SNS	0
その他の ML	9
知人の紹介	3
その他	8

○ 各講演・企画の満足度

講演・企画名	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
総論：ILL による文献提供の変化(藤江)	43	10	1	0	0
電子ジャーナルと ILL(西脇)	35	17	2	0	0
オープンアクセス・論文共有時代の文献提供(大園)	43	10	1	0	0
パネルディスカッション	20	24	10	0	0
情報交換	19	23	8	4	0

## 【自由記述】

### 「総論:ILLによる文献提供の変化(藤江)」について

#### 【評価:満足】

- 現在の状況をととてもわかりやすくまとめて解説していただき、後の講義のポイントが明確になりました。
- 文献入手の変化について、わかりやすくまとめられていて、共感することばかりでした。複写依頼件数は減ってきていますが、事前確認のチェックポイントが増えたことで、ILL業務自体の負担は減っていないと感じています。CATで見つからないものが増え、OAやEJを駆使できるかどうかで、文献入手に差がでることがよくわかりました。
- 現在は、NACSIS-CATから見えないところに多くの文献が存在するということがよくわかりました。
- ILLの現状について大変よく理解できました。
- 事前に各機関にアンケートをとってくださっていたので、具体的に何が問題になっているかがわかりやすかったです。
- 本学の場合、利用者から申し込まれる文献複写依頼のほとんどが洋雑誌に掲載された論文でして、EJがとても重要な役割をはたしています。(冊子体に先行して発行されるEJに掲載されている論文の場合や、冊子体の購入をやめEJのみの購入に切り替えている場合等)ですので、藤江様のご講義で「洋雑誌掲載論文の入手にはEJへのILLが不可欠となっている」「EJへのILLを駆使できるかどうかで文献入手に大きな差が出る=ILL担当者の高いスキルと経験が求められる」という内容のお話に深く共感いたしました。
- ILLを取り巻く状況がよくわかりました。また、現在の状況におけるILLの業務フローもわかりやすかったです。NACSIS-CATに登録がない場合でもEJを契約している館が存在する可能性があるということを入れて所蔵館確認を行いたいと思います。
- 業務の中で疑問に思っていたこと・わからなかったことについて、講師の方の経験談も交えながらご説明いただき、とてもわかりやすく、勉強になりました。
- 後の講演の導入として大学図書館におけるILL利用の現状をわかりやすく説明していただき、頭の中が整理されてよかった。
- ログやアンケートの分析で暗黙知のいくらかが可視化されたように感じました。
- まだILL業務に携わって数ヶ月ですが、これまでの業務での疑問等が整理されたような講演でとても勉強になりました。配布されたパワーポイントもとても見やすく、今後の参考にさせていただければと思います。
- OA化される論文が増えるにつれて、ILL業務が変化していることは肌で実感していたが、講義資料としてまとめられていることで、当該業務の内容と変遷を改めて理解することができました。
- 学術情報の電子化、オープンアクセスの拡大により大学図書館ILL担当者がどのように文献を入手するかについて、基本的な知識・情報を得ることが出来ました。冊子体中心のILL複写依頼業務だけでなく電子ジャーナル文献、オープンアクセス文献の入手方法・入手の困難な点について本学だけでなく各大学の共通の問題点であるということがわかりました。
- ILL業務の現状がよく整理されていて、説得力のある内容でした。後に続く講義の「予習」として大変わかりやすい説明でした。
- 近年のILL件数など数値を提示して、これまでの文献提供の変化を示していただいたので説得力があり図表も多く理解し易かったです。

- アンケートとログ分析のおかげで、最近の傾向がたいへんよくわかりました。アンケートを実施していただき誠にありがとうございます。また、業務フローにも焦点を当ててくださった点もよかったです。自分自身の業務を顧みることができました。さらに、ILL 担当者以外に ILL 業務をより理解してもらえるのではないかと思います。
- 論点が非常によく整理されており、問題意識がわかりやすかったです。CAT で所蔵館がみつからない状況はずいぶん前から始まっており、大学図書館の対応が後手に回っていることを再認識した。
- ILL 業務の変化と背景がとても理解しやすかったです。また、セミナー全体の構成について説明があった為、これから何を話されるのか、情報を整理しやすく感じました。
- ILL の現状と経年変化について、アンケート結果と図表を駆使され非常に分かりやすくご解説下さいました。このご講演で受講者の共通認識が得られ、西脇さま大園さまご講演への理解が進み、有意義なパネルディスカッションへとつながっていったかと思います。本セミナーのこなめとなるご講演、ありがとうございました。
- ILL の現状がよくわかり、問題点が理解できました。
- 文献提供担当者から現在の ILL が取り巻かれている状況を俯瞰出来た。実際に実務している担当者の視点から業務の流れについて、説明していただき分かりやすかったです。
- 現在の ILL の流れや状況等をわかりやすく説明していただき、参考になった点が多々ありました。
- 日本の大学図書館における ILL 業務がどのように変化しているのか知ることができ勉強になりました。DSS についてのおさらいも、きちっともう一度確認することができ良かったです。有難うございました。
- 大変丁寧に整理していただいてわかりやすかったです。ありがとうございました。
- 質疑応答のあと質問させていただきましたが、丁寧に詳しく教えていただき、ありがとうございました。
- 他機関で cat 上所蔵がなくても依頼されているとのことで、参考になりました(当館ではなさそうであればあきらめていたので)。そして、大規模大学でも同じような悩みというか現状を抱えておられることに安堵しました。当館は他大学の方とはあまり繋がりがなく、いつもとまどいながら作業をしているので、他機関の方々の現状を伺えたことがとても参考になりました。
- ILL の現状が全体的に見渡すことが出来て、また普段何気なく行っている依頼の業務も、このように変わってきたということが知ることができました。
- 過去を踏まえた上での現状をまとめてくださっていて、わかりやすかったです。
- 電子ジャーナルやオープンアクセスなど、資料形態や入手方法の変化などから変化していった、ILL 業務の変化といった流れがわかりやすくてよかったです。
- 漠然と「ILL は減ってきている」と意識していましたが、客観的な数字を示していただき、どの部分が減りどの部分が変わらないのか理解できました。また、これも漠然と「依頼時の確認範囲が複雑である」と感じていましたが、図に示され、項目化されることで、すっきりしました。
- 事前アンケートでのデータにもとづく分析、文献入手についての論点整理をしていただき、大変よかったです。
- とても落ち着いた説明でわかりやすかったです。
- 最近の ILL とそれを取り巻く状況についてわかりやすく説明いただけました。グラフで示していただけただので、これまでの流れや状況の変化を理解しやすかったです。

#### 【評価: やや満足】

- これほど EJ への依頼が増えているとは驚きでした。最近の状況が分かり勉強になりました。

- とても丁寧にお話してくれて、非常に聞きやすかったです。内容は結構あるあるネタが多かったのですが、電子ジャーナルの入手に関する問題を共有できる機会は貴重だと思います。
- EJ など雑誌の販売形態の変化に、図書館界のシステムが追いついていない(EJ 契約館をまとめて探せない)という部分が、本当に！図書館界はシステムに弱すぎるというか？機関リポジトリに関しても使いにくいものがフォーマットとして出回っているようで、同じ仕様の物が多い。データベース構築の会社にでもフォーマットを作ってもらえばいいのに。
- 自分が行っている業務を、改めて整理することができました。ILL の仕事は時間がかかる、ということ人を人に説明する時に、とても参考になる講義でした。

## 【自由記述】

### 「電子ジャーナルと ILL(西脇)」について

#### 【評価:満足】

- 知らないところもわかりやすかったです。
- EJ の購入に関わったことがないので、よくわからない部分もありましたが、さまざまな購読形態や契約条件など EJ についての知識を得ることができました。
- 電子ジャーナルの契約についてはほとんど知りませんでしたので、大変勉強になりました。また、ILL での探し方についても困っていましたが、やはりパッとうまく探すのは難しいということが確認でき、「EJ 契約のある機関の探し方」のスライドを参考に今後も地道に探していこうと思います。
- ILL での電子ジャーナルの取り扱いについて、改めて知ることができました。図書館資料とはみなされないということを断定していただいて、モヤモヤが晴れました。
- EJ 契約(パッケージなど)の特徴について詳しく知ることができ良かったです。
- ILL 利用においても、各電子ジャーナルの特徴や契約内容を把握しておくなどが今後は特に必要とされることが分かった。
- M 大学の具体的な数値をご教示いただいたことで、とても分かりやすかったです。
- EJ の契約機関の探し方についてのお話が参考になりました。EJ 契約については、複雑すぎて、実際に担当していないとなかなか理解するのは難しいような気もしました。
- OA や EJ の増加で ILL 業務が減っていることと、パッケージ契約を解約したことで ILL が増えるかということが必ずしも連動していないことが興味深かったです。EF 契約業務が ILL と少なからずつながりがあることを実感し、今後の自分の業務について考える良い機会になりました。
- 電子ジャーナルについて、基本的なところから契約体系や ILL での利用についてまでを、詳しく・わかりやすく解説してくださったので、電子媒体への知識が格段に増えました。今後の業務に活かしていきたいと思います。
- 電子ジャーナルの過去から現在までの利用環境や契約状況の変化が、図書館にどのような影響を与え、問題を引き起こしており、それが ILL 業務とどのようなつながりを持っているのかがわかり、電子ジャーナルの問題が今までよりも身近に感じられるようになったと思います。
- ILL に関連する近年の電子ジャーナル契約の国内外の事例を知ることができ、勉強になりました。有難うございました。
- 分かりやすい説明で基本事項の確認ができた。PPV の話など、実例もとても興味深かった。
- 電子ジャーナルについて、基礎的な知識を得ることができました。日頃疑問に感じていたパッケージをやめると ILL が増えない現象についても言及されており、納得のいく解説でした。
- 丁寧な語り口で、電子ジャーナルの基本から ILL での注意点まで詳しくご紹介いただきたいへん参考になりました。
- 雑誌担当が契約の取りまとめをしているので今回の講演では知らない内容が多々ありました。EJ の契約方法からの考察は、これまでの流れと今後どのように変化していくのかを限られた時間の中でご教示いただき大変勉強になりました。もう少し図表があるスライドだとビジュアル的にも理解しやすいのではないかと思います。

- EJ の特徴(さまざまな購読形態、価格体系、さまざまな契約)について、具体例をあげながら説明されたので、良くわかりました。EJ の ILL 受付、ILL 依頼について、注意点の説明を聞いて、良くわかりました。EJ 契約のある機関の探し方については、直接の担当者の方の経験を具体的に発表されたので、こんなやり方もあるのだなど、感心しました。ILL 以外の入手方法(論文購読)について説明があり、良くわかりました。
- ILL 複写の依頼の時に、知っておくとよい契約の知識を得られてよかったです。
- 電子ジャーナルと ILL の関係についてのご講演は有りそうで無く、拝聴するのは今回初めてだったかと思えます。電子ジャーナルの契約や著作権の観点だけではなく、ILL 入手不可時の代替手段や、パッケージ購入中止が ILL に与える影響等についても言及され、実務に大変ためになる内容でした。ありがとうございました。参考文献にも目を通したいと思えます。
- 本学でも、電子ジャーナルパッケージを導入するか否かを検討する必要が出てきたところなので、具体的な事例を聞くことができ大変参考になりました。
- 私は雑誌契約も担当しており、どの大学も外国雑誌には苦勞しておられるのだと改めて感じました。大学図書館としての課題に思えました。当館では雑誌の ILL 受付はしていないため、初めて知ったこともあり、今後受付を開始した折には活用させていただきます。
- 今後、さらに EJ の ILL の重要性が増すと思うのですが、どうしたらよいのか分かっていませんでした。注意点と ILL 以外の入手方法を教えていただき、なんとか取り組みそうな気がしてきました。

#### 【評価: やや満足】

- 既知の情報から新しい情報まで含めて説明いただき大変勉強になった。電子ジャーナルについて見識を深めることが出来た。
- EJ 契約のある機関の効率的な探し方を学べればと思っておりましたが、現状では横断的なツールがないということがはっきりとわかった講習でした。非常に残念ではありましたが、個人力量によるという点からスキルアップの重要性を改めて認識することができました。
- 電子ジャーナルの契約を担当したことがなく、契約の詳細を分かっていない部分があったが、ILL の複写依頼傾向と電子ジャーナルの契約内容は、補完しあえる部分があるように思えた。
- 私自身の業務が ILL と機関リポジトリなので、ピックディールなどの問題は既に把握済みだったのですが、上記の藤江さんの報告のように担当者間での情報の共有は必要だと思います。また M 大さんのパッケージ購読中止後の状況については非常に参考になりました。あとコンソーシアムさんにはパッケージ購読無しの個別対応(SD トランザクションなど)について、ぜひ頑張っていたいただけたらなあと思います。
- 自館の EJ 契約条件については全く把握できていないので、至急確認する必要があると思えました。
- 契約関係の話は少し難しく理解ができにくかったです。
- 電子ジャーナルに関しては、普段値上がりしてきているとは聞かされているものの、契約の結果しか知らされていなかったのも、どのような契約形態があるかということや、ILL での利用方法について等知識不足なことが多かったのも、非常に勉強になりました。
- EJ 契約のある機関の探し方が参考になりました。
- 電子ジャーナルの契約は、別部門で行っているため、分かっているようで分かっていませんでした。そこを丁寧に説明していただけたので、このセミナーに参加してよかったと思えました。
- 電子ジャーナルの ILL について、基本からあらためて振り返ることができてよかったです。

- パッケージ契約を中止するというとき、教授会の抵抗はなかったのか、とか、本校で何かを変更したり、実行したりしようとするときの状況を思い浮かべながら、拝聴いたしました。配布資料になかったパワーポイントの資料もいただきたいです。
- パッケージ契約をやめ、個別タイトルの契約に切り替えた事例など、興味深かった。確かに、利用の少ないタイトルも含まれたパッケージは金額と利用数が釣り合わないとおもう。割と利用者も困ってないところがある意味残念なところ。抱き合わせで売れない雑誌を買わされていたような気分。EJの謝絶で回ってきた依頼などは、「ウチはOKだぜ〜^^」と応えられるものはルンルンで受けています。EJの印刷もA3に2in1で印刷しているので見開きコピーと同じ結果です。冊子の状態によっては2枚になるところが1枚に収めることが出来るのでよいです。

## 【自由記述】

### 「オープンアクセス・論文共有時代の文献提供(大園)」について

#### 【評価:満足】

- ReseachGate の問題を恥ずかしながら知らなかったのが、今回知ることができて良かったです。BASE、OpenAIRE を利用したことがなかったので、今後積極的に使っていきます。利用者の方にも OA の利便性を伝えていきたいと思いました。
- 様々なコンテンツをご紹介いただき、知見を広めることができました。講演中に紹介があった OA コンテンツをまとめて検索できるサイトを参考に使用し、今後の業務に役立てていきたいと思う。
- OA コンテンツをまとめて探すことができるサイトを知ることができ良かったです。
- これまであいまいであったオープンアクセス論文の定義について、一から教えていただいたので、これからは迷うことなく、利用者に文献を提供しようと思いました。
- これまで曖昧な部分が多かった OA について、改めて学ぶことができて良かったです。特に OA 文献のリテラシー教育の重要性を認識することができました。
- OA については、探す段階、それを利用者に提供する段階で、それぞれ手探りで行っていることが多く、具体的に役立つ情報を伺うことができて参考になりました。リポジトリ担当、リテラシー担当、ILL 担当が連携することの重要性が印象に残りました。
- 業務に直結した話が聞けたため、有意義な時間でした。SNS の話など、現場でも話題になっていたのが興味深かったです。
- OA(オープンアクセス)とは何かについて、OA コンテンツの場所、OA コンテンツの質、OA コンテンツの見つけ方にそって説明があり、良くわかりました。OA コンテンツの質については、出版社版のものを間違いなく提供することの大切さを改めて認識しました。OA 文献の信頼度は、OA のタイプ、OA の公開場所によって違うので、学内図書館員(リポジトリ担当、リテラシー担当、ILL 担当)どうして、情報共有することが大切であることがわかりました。
- オープンアクセスについて、どのように探せばよいのか、利用者にとどこまで提供してよいのかなど、日頃の疑問の解決策や今後の指針を示していただけたように思います。
- オープンアクセスの流れや原稿のタイプなどわかりやすく整理していただき、勉強になりました。また、具体的なサイトの紹介も参考になりました。
- 文献が OA で公開されているかの調査には時間がかかりますが、今回ご紹介していただいたデータベースを活用していきたいと思います。また OA として公開されている文献が著作権をクリアしているのか悩むこともありましたが今回の講演でお話されていたことを参考にさせていただきたいと思います。
- OA について Web 検索して hit する PDF は、リンクをたどって信頼おけるものか確認する、などの説明が具体的でわかりやすかったと思います。
- 具体的なサイト名やその質についての率直な意見が参考になりました。
- OA 文献の探し方や注意点がよくわかりました。
- ILL 依頼時の確認範囲のうち、OA 有無を調べるべきサイトを明確に示してくださって、良かったです。
- オープンアクセスの基本的知識について学ぶことができ、勉強になりました。これから、学んだオープンアクセスについて活用させて頂きたいと思っております。有難うございました。



- 検索エンジンで上位にヒットしてくるものが SNS 上にあるもので、これまでは案内するか否か躊躇がありました。今回の講義で SNS の性質を理解でき、また SNS に頼らずとも、信頼できる検索サイトがいくつもあることがわかり、勉強になりました。これまでは、単にウェブ上で見られるもの=OA という認識しかなかったのですが、論文の性質、信頼度の違いなどを学ぶことができて有意義でした。
- 具体的にサイトや事例を示していただき、とてもわかりやすかったです。OA について曖昧だった部分についてご教示いただけましたので、助かりました。
- オープンアクセスが拡大している中で、大学図書館としての利用法を学ぶことができました。OA 文献の提供は慎重にしたいと思います。洋論文の情報収集には苦勞しており、今回知らなかったリポジトリも教えていただいたので、今後の ILL 業務に活用させていただきます。
- オープンアクセスのコンテンツに関しては、業務上非常に興味があり、依頼していただいた方にどう提供すべきかどうか迷いもたくさんあったので、非常に興味を持ってお話を聞くことが出来ました。
- オープンアクセスのタイプごとの特徴や注意点について、知識を整理することができてよかったです。
- ILL で依頼された文献が、オープンアクセスの論文だからこそ見れるのか、それとも購読の契約をしているから見られるものなのか、依頼時や受付時に迷い、時間がかかってしまうことが多かったが、紹介のあったサイトを活用していきたいと思いました。
- 具体的でわかりやすかったです
- 論文を探す時、今まで闇雲にグーグル検索をしておりましたが、OA コンテンツの所在、質の評価、見つけ方についてご説明下さり、頭の中が整理されました。実務にとっても役立つ内容をありがとうございました。ResearchGate のニュースもご解説下さったことにより、何が起こっていたのか理解できました。
- ResearchGate に関する最新の情報、OA コンテンツの検索法など、まとめていただき助かりました。
- リポジトリの知識がある方からの説明はとてもわかりやすかったです。
- オープンアクセスのコンテンツにも利用者に紹介するに足る信用性の有無があることを知り、それを見きわめるスキルの必要を感じた。
- グーグルスカラーで検索してヒットした論文を、利用者に案内してもよいか不安でしたが、今回のセミナーで「OA コンテンツをまとめて検索できるサイト DOAJ、OpenAIRE、BASE」を教えていただき、大変ためになりました。DOAJ、OpenAIRE、BASE を利用してこれからの業務に励んでいきたいと思っています。

#### 【評価: やや満足】

- 研究者用 SNS に関しての見解を聞くことができてよかったです。また、OA コンテンツをまとめて検索できるサイトの紹介があったことがよかったですと思いますが、前のスライドと口頭でのみの紹介のものが残念でした。
- 論文の探し方については基礎的な、PubMed や医中誌 Web の部分以外は他担当者から口伝のような部分がかかなりあるので、OA のデータベースが知れて良かった。受付担当をしているが、OA になっている資料の文献依頼も割とあるのでこういった情報をもっと周知されるといい。図書館員必携ブックとかあるといい。もしくは何か SNS 的な情報が双方向の物。
- ResearchGate の最新状況からセルフアーカイブ文献の提供について、実は難しい点があることを改めて認識した。
- これまで出版社版・著者最終原稿の違いの認識が薄かったので、今後意識して業務を行いたい。

- こちらも機関リポジトリ担当を兼務しているものとしては、既知の情報が多かったのですが、**ResearchGate** についての情報は参考になりました。質疑でもありましたが、当館の場合、ケースバイケースでの提供となりますが、エルゼビアなどの声明を知ることができたので、今後、提供する際にはより一層の注意が必要だということが認識できました。
- OA コンテンツの確認の難しさを改めて実感しました。

## 【自由記述】

### パネルディスカッションについて

#### 【評価:満足】

- パネリストの皆さまのご意見や、他館の状況などを知ることができよかったです。
- 各大学図書館の各事例への取り組み方が知ることができてよかったです。できれば、もっと多くの意見を聞きたかった。
- 講演中にもありましたが、OAの探し方など、利用者へのリテラシーの重要性をあらためて感じました。
- 他の図書館の事例や疑問点について、講師の方々が明快にお答えくださり、業務の参考になるものばかりで、大変勉強になりました。
- パネルディスカッションの前にご説明下さった DDS について。DDS という方法があることは知っていても、当室は ILL 件数が少ないのでよく分からないままになっておりました。機会があればぜひ DDS でやり取りしてみたいと思います。パネルディスカッションについても、他大学さまの実務について色々伺うことが出来、大変参考になりました。ありがとうございました。
- 専門知識のある方の話を伺えたことがよかったです。
- 他の大学の事例などの事例等を聞いて勉強になりました。どのようなデータベースを利用しているかも知ることができて良かったです。
- 各大学の実務担当者の自信の経験値に基づく積極的な発言があり、とても良かったです。
- 今までの講演の補足や復習ができ、他大学の事例を知れて良かったと思います。
- 議論が深まるように、事前のアンケートを活かして流れを作ってくださいだったので、限られた時間で実りある内容になったと思います。

#### 【評価:やや満足】

- 時間が短く、駆け足だったのが残念です。
- ユニークで楽しく参加させて頂きました。
- OA については今までさほど気にとめずになんでも紹介してしまっていました。今後の対応を考えるよいきっかけとなりました。他の係との連携、利用者教育の重要性を再確認しました。
- 参加人数も多く、短時間でなかなか意見をくみとるのが難しかったと思いますが、OA で見つかった文献を依頼者に紹介するかどうかの判断など、他館の状況を聞くことができたのがよかったです。
- 参加されている機関の実状やご意見を聞く時間がもう少し長いとよかったです。
- テーマ 3 点が知りたいこと、自分がまとめておきたいことだったので、参考になりました。
- 各館によって対応が様々で、参考になりました。
- 発言者に少し偏りがあったので、名簿でランダムに指名していただいても良かったのかも。しかしながら他校の事例を知れたことは良かったです。
- 大きな話だけでなく各館の小技も知れて面白かったです。
- 各大学の ILL 担当者の具体的な工夫をもう少し聞けたら良かったと思います。
- 私自身も発言したいと思っていたのですが、なかなか手を上げることができず、もっと活発な意見交換ができれば良かったのかな。と感じました。あと電子ジャーナルからみたお話が全体的に少なかったように思いました。

- ILL 担当者の方々の生のお声が聞けて新鮮でした。「やっぱり同じことを思っているんだ」と同意したり、「なるほど、そういう考え方、そういう状況もあるんですね」とふむふむと思ったり、でした。
- 講演を振り返りつつ、他館の状況や取り組みについて何うこともでき、充実した内容でした。ただし自身も含め、参加者がもっと積極的に発言できればよかったかなと思います。
- 参加館の事例を聞くことができ参考になりました。パネルディスカッションの時間がもう少しあってもよかったと思います。また参加者への問いかけはクローズド・クエスチョンとオープン・クエスチョンを混ぜて回答しやすい雰囲気づくりができたならより良いと思いました。
- 他大学の業務についても実践例が紹介され、現場レベルでの討議内容も参考になりました。
- 少し時間が短かったように思います。
- 業務フローを考えるという野心的な試みは大変に賛同します失敗を恐れず、どんどん突き進んでください。
- 各館でどのようにされているか、具体的に知ることができ、参考になりました。
- 討議項目が三つ設定されていて、時間のない中でも有意義だったと感じます。ILL 作業フローチャートは各大学で応用が利き、良いと思います。更に、会場から出た具体的な意見(例えば、他大学の電子ジャーナルリストを検索する際のコツ等)も、とても役に立つと思いました。
- テーマ立てが実務に沿っていてよかったと思います。時間もちょうど良かったと思いますが、もう少し活発な意見交換が会場とパネラーの間でできると、お互いより刺激が得られたのではないかと思います。

#### 【評価:ふつつ】

- パネラーの発言が少なかったように思います。
- できればこちら(ディスカッション)により多くの時間を割いていただきたかった。また事前アンケートの議題だけではなく、自由意見交換の時間をもっと作っていただきたかったです(おそらく山のように出てくるはずです)。
- もう少し他大学の情報を聞きたかったです。
- 資料が欲しかった。スライドがちょっと早く、メモが追い付かなかった。
- 講師のみなさんのお話もよかったです、会場の方の事例も興味深かったので、会場の声をもう少し聞いてみたかったです。

## 【自由記述】

### 情報交換について

#### 【評価:満足】

- 付箋に意見を書くだけでなく、シールを貼っていくところが見やすいなと思いました。同じやり方でされているところが多くある問いや、やり方が二手にわかれている間などがあり、それが一目でわかるのが面白かったです。
- 他館の状況を知ることができて良かったです。
- 先述しましたが、当館は他機関の方とあまり繋がりががないため、手探り状態で進めていることが多いのですが、今回多くの方の話を伺えてとても参考になりました。
- ロビーでのホワイトボードの情報交換は、新鮮で楽しく質問等に回答ができ、他の大学の回答を見ることができてよかったです。
- ホワイトボードに各大学からの質問事項がうまく集約されており、フセンやシールを使うなど楽しい工夫もされていてよかったです。休憩時間を活用して効率よく情報交換をすることができました。
- 実際にあった困った事例や「ILL あるある」などが聞けて面白かった。
- 非常に斬新な方法で、他の方の意見も見やすかったです
- 日頃の「困りごと」について、他館での事例を知ることのできるよい企画でした。著作権クイズも勉強になり、充実した時間となりました。
- ホワイトボードとシールを使った情報交換、良い試みだと思います。各館からの意見は、付箋だと文字が小さいのでホワイトボードに直接書いてもらってもよさそうです。
- 他館の情報を得ることができ、今後の業務の参考になりました。情報交換の方法も楽しい企画でよかったと思います。
- 当室は ILL 件数が多くないので、情報交換の輪に入るのに気後れしてしまいましたが、とても良い試みだったかと思います。(ILL で依頼をかける時、受付してもらえるかどうかは知人に直接電話して聞いた方が早いなど思ったりしますのでも)。
- ILL 担当者の方が普段検索に使用しているツール等を聞くことができ、事例共有ができたことを、大変うれしく思います。
- ホワイトボードに付箋やシールを張り付ける、という情報交換は新鮮でした。気おくれすることなく、楽しく参加しやすい方法だなと感じました。
- ユニークな仕掛けがあって、参加しやすく、他館の様子もうかがえてよかったです。知り合いだけで固まりがちだったので、参加者に館名の入った名札があれば、初対面の方にも話しかけやすかったかもしれません。
- ホワイトボードに貼られている、他館様のご意見や疑問を見ながら自館の現状について考えたり、いろんな知識を吸収することが出来たので、非常に面白かったです。

#### 【評価:やや満足】

- ホワイトボードと付箋を使った情報交換、よい試みと思いました。
- なかなか知らない方と話すのは緊張しましたが、講師の方に質問ができて有意義に過ごせることができました。
- 休憩の時間も楽しく過ごせました。参加者に名札を配ったり、事前に質問を提示したりしてもより意見や交流が促進されたかもしれません。

- やり方が面白いと思いました。
- 質問内容の情報交換については、前もって情報提供されておればなお深く掘り下げて情報交換できたのではと思います。
- ホワイトボードに貼る方法は他館がどのようなことをしているのかの「見える」化になっていたのが良かったと思います。ただ欲を言えば、何人かでグループを作り、座談会のような形をとる方が、より情報交換しやすい環境になったかもしれないと感じました。
- ホワイトボードに提示された質問に対して参加者同士が話し合いながら考え交流をもつことができ良かったと思います。
- 付箋とシールを活用した手法が面白いと思いました。後日の共有が楽しみです。ILL クイズも面白かったです(結構間違えました)。
- こちらも上記のディスカッションのように、事前アンケートの議題だけではなく、もう一つボードを用意して、自由意見を述べる場を設けていただき良かった。ただこのような手段(ホワイトボードに貼っていく)は非常に面白いと思いました。
- もう少し時間があると良かったと思います。
- 情報交換について、他大学の状況などを知れて、非常に面白いと思いました。時間の関係で難しいとは思いますが、今後同様の企画がありましたら、情報交換にもっと時間を割いてもいいのかなと思いました。
- これまで参加したセミナーとは異なる方法で良かったです。付箋を貼る方が少ないようにも思いましたので、一人最低1枚は貼る等、一部方法を決められても良かったのではないかと思います。
- 知らなかったデータベースを教えていただきました。ありがとうございます。
- あまり今までにない形でおもしろく感じました。
- 他大学の方と話し合う機会があり良かったと思います。
- ホワイトボードに付箋を貼ると、字が小さくて見えづかったです。パネルディスカッション同様、他校の事例は参考になりました。
- 張り紙を使った形式だと発言する時間がなくてもいいので、よいやり方だったと思います。
- もう少し意見が出たらよかったです、シールは参加し易くてよかったですと思います。

#### 【評価:ふつう】

- 受付しか担当していないので依頼の人に来てもらえばよかったですと思った。聞いたこともない、小耳に挟んだだけの単語が多く、ちょっと申し訳ない。海外依頼も、リプリントデスクも最近やっていたようなので本当に！
- 本当は、とても、満足なセミナーだったのですが、当館は、利用者教育(学生向けセミナー)も、雑誌の契約も、ILLの統括もすべて二人の司書でやっており、縦割りなどおこりえず、この上ない連携がはかれていると思いますが、なぜかILL申込件数の3割は所蔵雑誌や契約EJ・機関リポジトリ等で、いろんな努力をしても超えられない壁になっていることについて、突破口を得たかった・・・欲を言えば、そのような気がします。

#### 【評価:やや不満】

- せっかくの情報交換だったので、ホワイトボードに書かれていた事柄も踏まえてパネルディスカッションをしていただければ、より活発になったのかと思います。
- 名札やグループワークがなかったためか、話しかけにくそうなところがあり、活発な意見交換をしにくかった。

- 情報交換の手法に感心し、有益な情報交換になるかと期待しましたが、貼られた付箋が少なかったのが残念でした。多くの人が見ている前で貼ることに対して抵抗があったのかもしれません。また、事前に質問事項をお知らせいただけたら、正確で詳しい情報を用意することができるので、付箋の数も増えたのではないかと思います。
- 時間の関係等で難しかったとは存じますが、グループごとに意見交換の後、その内容を発表という形をとっていただけると嬉しく思います。「自由に」となると、お知り合い同士での意見交換になりがちであり、有益な内容が含まれていても周知されなければ同じセミナーに参加した意義が薄れるのではと存じます。

## 【自由記述】

### 全体の感想、今後受けたいセミナーの内容など

- 講演は全体的に分かりやすく充実した内容だったと思います。質疑応答とパネルディスカッションでは、身近な疑問を提示していただいたのでとても参考になりました。
- 今回の内容を今後の検索に生かしていきたいです。利用者教育の話がでていましたが、どのような図書館講習をおこなっていらっしゃるか、こういう講習だと効果的だったなどを知る機会があれば、と思います。
- ILL 業務は各大学図書館で行われているのに、実務者が集まっての現状確認や、ILL 業務をめぐる様々な事柄を学んだりする機会等がなく、今回のセミナーは貴重でした。とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ここ数年は ILL に特化した研修があまりなかったので、今回開催していただけて大変有難かったです。他館の様子を伺って、自館の処理・運用方法について考えなおす部分もあり、大変勉強になりました。ありがとうございました。
- 面白いお話が色々聞けたのですが、もう少し実務に直結する小技などの情報が交換できたらよかったですと感じました。
- 他館の意見や研修内容から、自身が問題を感じていることが、共通の問題であることが知れてよかった。
- 今後は座学+座談会形式の情報交換ができるセミナーを希望します。また、来年から GIF がなくなる事に伴い、海外 ILL 業務についても、ノウハウを共有できるような場があればと思います。大学を超え、ILL 業務担当者が集まることはなかなかない機会ですので、今回のような試みがこれからもあると心強く思います。
- 前出の意見にも書いておりますが、もっと自由意見交換の場を作っていただきたかった。ただ ILL のセミナー自体あまり多くないように思われますので(私自身総合展を除いて 2 回目でした)、今回のようなセミナーは非常に貴重な場だと思います。是非々々、第 2 回目の ILL セミナーを開催していただけることを期待いたします。改めまして今回は貴重な場をご提供いただき、誠に有難うございました。
- 非常に充実した内容のセミナーで、参加させて頂けて本当に良かったです。通常の業務内容で気になっていた点や疑問点等について、解消できた部分も多かったです。今後、OA 文献のリテラシー教育の現状等も学べる機会があれば嬉しく思います。ありがとうございました。
- DDS についての補足説明もしていただき、ありがとうございました。積極的に使うとよいですね。
- 有益なセミナーを開催していただき、ありがとうございました。
- 本当にためになったセミナーでした。ILL の経験が少なく、知識の少ない私でも、とても理解することができました。また、開催されるときにはぜひ参加したいと思いました。ありがとうございました。
- 文献を探すのに時間がかかってしまうことも多く、このやり方でよいのだろうかと思うこともありましたが、今回のセミナーを受けてそれしか方法がなかったということも確認できましたし、知らなかったサイトなども教えていただき、大変助かりました。今後も EJ や OA の状況が変わっていくと思いますので、定期的に ILL のセミナーをしていただきたいです。
- この度は、文献入手スキルアップセミナーを受講させていただきまして、誠にありがとうございました。大変勉強になりました。今回学ばせていただきました事を、今後の ILL 業務に役立てていきたいと思っています。
- 大変勉強になりました。ありがとうございました。



- このようなセミナーに参加させていただくと、いつも講師になっておられる司書の方の大学では司書の専門性を認め、司書を育てておられる気がしてうらやましく感じます。当館の場合、司書は正規職員司書は1~2名、多くは支払い業務や閲覧系のパート職員の育成にてんてこ舞いです。カウンターでも ILL 申込はとりあえず受ける→後は司書が調べ、オープンアクセスの場合はセミナーに示していただいた事例メールのようなものに、都度都度、出典や調べ方等を書きますが、成果もなく、カウンターで利用者に何かを伝えることもできず、JUSTICE に入りたい、でも人員はさけないから入れない...研修でもっと知識を得たい、でも図書館を空けられないから参加できない、このような弱小図書館では、教員の不満と、事務局管理職の「プロとしての事務職意識」との板ばさみになって、司書は力をつけることもままならないまま(自助努力はもちろんしているけれど)、誰にもわかってもらえないまま、ふけば飛ぶような存在になりつつあり、「この大学には実は正規司書はいらないんじゃないですか～」と自虐的に事務局にお応えしてしまいたくなるころまでできています。完全白旗状態です。弱小大学図書館は、このような状態をいかに脱するのか、について、セミナーを開いていただきたいです……。今回は本当にありがとうございました。
- 主催校の方が作成された、著作権についてのクイズがとても面白かったです。現場スタッフにもぜひ共有したいと思いました。今回の研修を受講したことにより、今まで知らなかったこと・漠然としか理解できていなかったことについて、きちんと把握することができました。ILL 担当者の今後の在り方を考えるきっかけとなり、非常に有意義な時間となりました。ありがとうございました。
- EJ、OA の情報を知ることができて良かったです。他館の ILL の現状を伺えたのも貴重でした。事前アンケートを踏まえてお話をされていたからだと思いますが、日頃、疑問に思っていることなどを伺うことができて、大変参考になりました。どうもありがとうございました。
- 私は私立大学に所属しておりますので、国公立大学所属の図書館職員の方と接する機会がほとんどありません。ですので、今回は貴重な機会をいただきましたこと、感謝申し上げます。今後も国公立・私立問わずに参加可能な、相互利用担当者向けのセミナー・情報交換会等が開催されますと嬉しく存じます。
- 講師の皆様の内容、お話の仕方がわかりやすく、とても充実したセミナーだったと思います。日ごろ経験を重ねてやっていることも、このように体系的にまとめて説明していただくと、業務についてあらためてみつめてみるいい機会になりました。また、講演を通して、大学の規模やレベルに関係なく、どこの図書館も業務上の悩みは同じだとか、日頃やっていることも同じだとかモチベーションが上がったような気がします。どこまで探すか、どのようなものを(確実なものを)提供するかなども今回のセミナーで整理できたような気がします。ありがとうございました。
- 今回のように、明日からすぐ役立つ系のセミナーを期待しています。会場外のホワイトボードなど工夫してくださり、各館の疑問点・相談したいことの解決につながったと思います。ありがとうございました。
- ILL 業務を行う中で、他館ではどうしているのだろう? という疑問を解消することができました。また、DDS について知ることができ良かったです。セミナーで得た情報を、これからの業務に活かしていきたいと思えます。ありがとうございました。
- ILL のセミナーがあれば、是非参加させていただいて ILL について勉強したいと、ずっと思っていたので、今回参加させていただいて大変感謝しています。DOAJ とか、OpenAIRE とか今まで知らなかったことをいろいろ教えていただき、大変勉強になりました。ありがとうございました。また ILL のセミナーがあれば是非参加させていただきたいです。藤江先生や大園先生に個別に質問をさせていただきましたが、丁寧に、また、わかりやすく説明をしてくださり、感謝しています。ありがとうございました。

- このたびは大変勉強になりました。ありがとうございました。こういった特定の業務をテーマにした研修はまたやっていただきたいと思います。貴重書・研究データ等のアーカイブについても聞いてみたいと思います。
- 当館では ILL 業務に精通している者がいないため、今般は大変参考になりました。今後に活用させていただきます。
- 情報交換の時間ももっとあればと思いました。もう少し話を聞きたかったです。ホワイトボードの分は、HPにアップしていただいているのですが、これを見た後の意見の場を設けていただければ、と思いました(無理なことでしたらすみません)。
- 今後も ILL 業務についてのセミナーを開催していただきたいです。図書館の利用に係る取り組み(アクティブラーニングその他利用拡大につながった例など)も聞いてみたいです。
- 現在の ILL 業務に深く関わることだったので、どの講演も非常に興味があり、有意義な時間を過ごすことができました。この度は、参加させていただき本当にありがとうございました。
- レファレンスに関するセミナーを受講したいと考えております。分野ごとに関するレファレンスのお話や、レファレンス事例、ツール等のお話などがあれば、大変興味があります。
- 電子ジャーナルや OA は日々進化していくので、定期的にこのような ILL を絡めたセミナーがあるといいと思いました。ILL も初級、中級、上級など内容別に受講できるセミナーがあればいいと思います。今回は大変勉強になりました。ありがとうございました。
- 参加してとても楽しかった、有意義だったと思いました。講師の皆様、ありがとうございました。現場に帰って、すぐに同僚に話したくなる内容ばかりでした。
- 今後も継続して事例共有の場を設けていただきたいです。
- 是非このセミナーブラッシュアップをして定期的にしてほしいです(例:近畿イニシアの講習の枠に入れるなどして)
- ロビーでのクイズ形式の企画やホワイトボードにポストイットを掲示する企画は、他大学の状況を少しでも垣間見れたようで良かったです。
- ILL の業務は現在も、基本さえ押さえてしまえばだれがやっても同じと思っていました。しかし、オープンアクセスの論文についてなど、担当者の力量や知識量に左右される状況になりつつあることがわかり、また他大学でも依頼時や受付時の悩みは似通ったところがあることもわかりました。講演やパネルディスカッション、情報交換などで知った情報を自館にどの様に還元していくのかや上長が「職員の質は均質になるようにしたい」と言っていた意味を改めて考えさせられたセミナーだと思いました。今後は、図書館間の連携や情報交換の場などについてのセミナーがあれば参加したいです。
- 文献入手スキルアップというあまりないセミナーを開催して頂き有難うございました。
- 電子ジャーナルやオープンアクセスが増加する中で ILL の業務内容や必要なスキルが変化していくことから、今回のようなセミナーが定期的に行われることを希望します。
- 内容が整理されていて、狭い意味での ILL にとどまらず、文献入手について広く考えるきっかけになったと思います。ありがとうございました。
- 各館各様に取り組んでおり、かつ取り巻く環境も変わってきている ILL ですが、なかなかセミナーの題には上がっていなかったと思うのでとても面白い会でした。
- アクセスのよい会場で、参加しやすかったです。半日という時間的制約のなか、3講演・パネルディスカッション・情報交換と盛りだくさんで充実した研修を実施していただき、ありがとうございました。お疲れさまでした。

- とても実りある、参加してよかったセミナーでした。ありがとうございました。
- ありがとうございました。Research Gate や OJ の対応など、とても参考になります。ホワイトボードの様子と同様に、パネルディスカッションで使用された資料も後日共有にして頂ければ幸いです。
- 出席者名簿、名札があれば、もっと良かったと思います。文献複写入手について、常日頃感じている疑問点・問題点が私自身、本学だけが感じていることではなく、多くの大学での共通の疑問点・問題点であることが多いと認識しました。講演者の方については、パワーポイントを使って、丁寧な説明をされたので、とても解りやすかったです。感謝いたします。各大学の出席者は、とても積極的に発言されたので、業務についての熱意を感じました。今後とも国公立を交えた、図書館の抱える問題点について、セミナーを開催していただきましてありがたいです。ありがとうございました。
- ILL に特化したセミナーというのはこれまでになく、今後の業務に役立つ内容で、参加できて本当によかったと思います。今後のセミナーですが、神戸大学さんは「うりこ」や Twitter など、広報が大変優れていると思います。今回のセミナーのチラシも素敵なデザインでした。効果的な広報についてのセミナーがあればぜひ受講してみたいです。
- このたびはたいへんお世話になり誠にありがとうございました。アンケートをいただいた時点から期待しておりました。ILL について他大学の方と情報交換することがほとんどなく、また、電子化等に伴い従来どおりいかないことも増えてきたので、他大学の方と共有し、アップデートする場を与えていただき、たいへんありがたかったです。
- どの講義もとても興味深くもってお聞きしたいと思いました。限られた時間なので内容を絞って深めるか、時間を延ばしてもいいのではと思います。今後はレファレンスのセミナーなどがあれば事例を共有し交流の機会になると思います。今回は貴重な機会を設けてくださりありがとうございました。
- 著作権法が関連する ILL の事例の対処方法について、今後あれば受講したいと思います。
- 知らなかった論文検索サイト等も知ることができて、参考になりました。規模が大きい大学の状況も聞けて、参考になりました。それぞれのデータベース、検索サイトの実際の検索の仕方(実技)等のセミナーがあれば、参加したいです。
- 当日はたいへんお世話になりました。電子ジャーナル・オープンアクセスへの対応については、他機関も同じような悩み(課題)を抱えてられることがわかり、今後もこのような情報交換をできる場があればと思いました。冊子体と電子媒体が共存する過渡期が一番たいへんですね(当面このような状態が続くものと思われませんが)。また他機関の業務等の事例をお聞きすることができたのもたいへん有意義でした。ありがとうございました。
- 当室は ILL 件数が少ないために経験から学ぶことは叶わないのですが、本研修は「ILL の現状を解説下さったことにより、どの図書館室も同じ問題で悩んでいることが分かり安心した」「実務に即役立つ内容だった」ことで、大変有意義な研修でした。また、西脇さま大園さまのご講演は、電子ジャーナル契約・機関リポジトリ業務に関する教員からの問い合わせへの回答にも役立つ内容でした。本セミナーを立案された神戸大学の皆さま、ご講演下さった皆さまには心より御礼申し上げます。ありがとうございました。